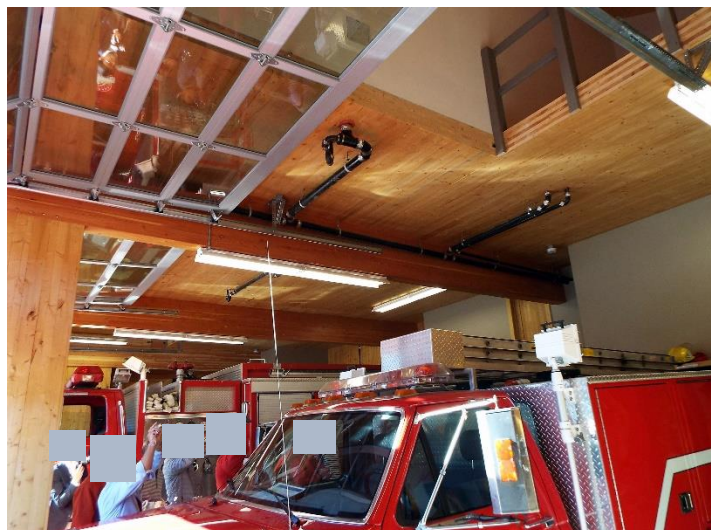
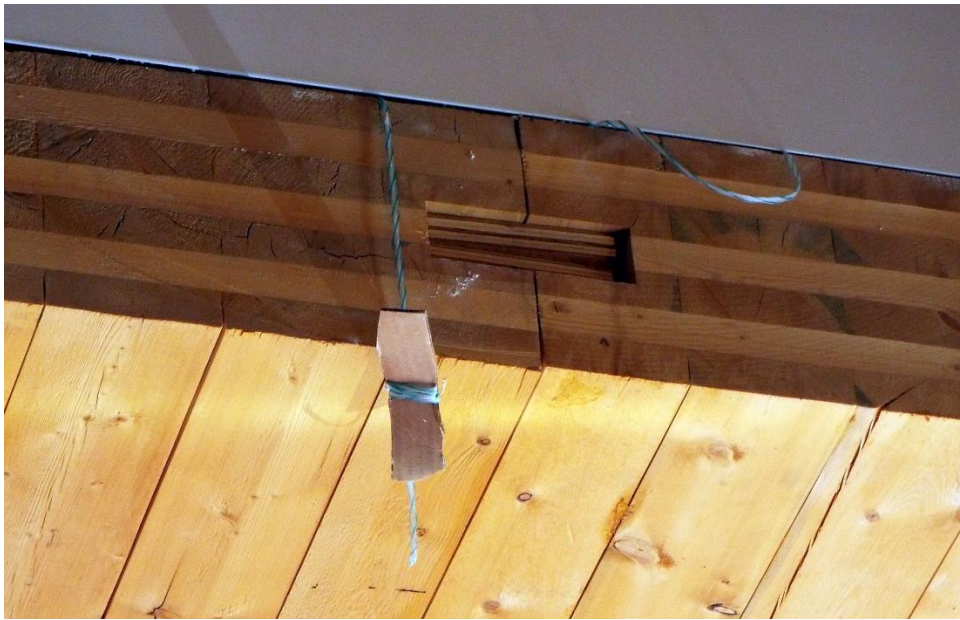




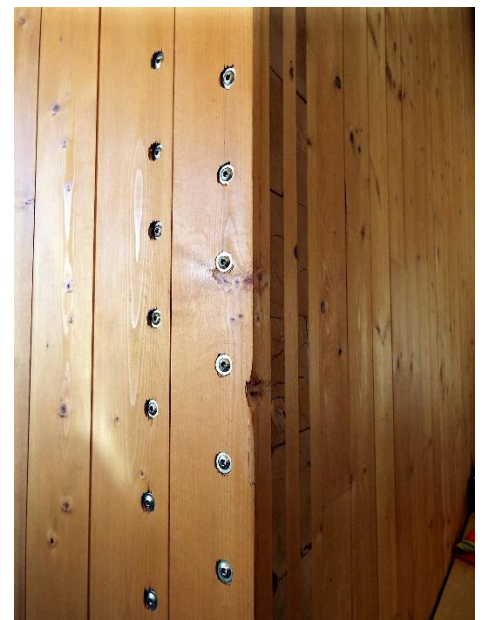
カナダ・ガリバルディーの自警消防団の、CLT（直交集成板）を用いた木造2階建て消防署です。消防車3台の車庫と2階に署長の住宅があり、延べ面積約330㎡で2014年7月竣工、建替え前がツーバイフォー工法だったこともあり消防署を木造で建てることに抵抗はなかったそうです。見学当時はgoogleのストリートビューで以前の建物を見ることができましたが、その後既に更新されています。壁・床にCLTと一部集成材梁を用いている木造躯体工事は4日間で完了したそうで、外壁は窯業系サイディング張りで、屋内は特に耐火被覆はなくCLTの現しになっています（住宅部分は石膏ボード+仕上げ）。CLTはカナダ産の最低グレード（工業・産業用）を用いてコストダウンし、近くのウイスラーに建った同規模のRC造消防署の6割程の建築費で、さらに木材利用の補助金も受けたとのこと。外壁にはCLTとサイディングの間にロックウール断熱材が入っていますが、1階の凍結防止（5℃以上に保つ）にRC土間に温水床暖房が設けられています。CLT床パネルの目地部には合板の雇い実が用いられ、CLT壁の直交部はセルフタッピンねじで緊結されています。ホースを乾燥するための塔は、以前の建物のものをそのまま残して組込んだものです。



壁・床（天井）はCLTの現し



CLT (7プライ) 床パネル目地の雇い実



CLT (5プライ) 壁コーナー部



ホース乾燥塔を見上げる



ホース乾燥塔は、以前のものを残して活用

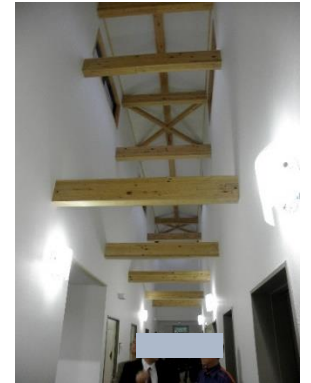
ガリバルディーは、バンクーバーからペムバートンまでの Sea-to-Sky Highway (99 号線) の途中で、ウイスラーの手前 30km 程のところであり、Highway の東には長さ 6km 程のデージー湖があります。この消防署は Highway から少し西に入った BLACK TUSK VILLAGE の入口にあり、200 戸程の VILLAGE が担当エリアになっています。レッタ湖やパインクレスト湖など小さな湖水が幾つかあり、林の中に日本の別荘地のような間隔で住宅が点在しています。

<google 地図参照> <https://www.google.co.jp/maps/@50.0040525,-123.1378686,18.79z>

(写真撮影日 : 2014.9.20)

< 国内でも木造消防署が >

2010 年 10 月施行の公共建築物等木材利用促進法の趣旨に副って、事務所・学校・庁舎等に中大規模の木造建築物が増加する傾向にあります。木造から一番遠いところにある消防署の庁舎にも、「木造」が出始めています。その中でも竣工が早かった一例を紹介します。



埼玉県秩父郡皆野町の秩父消防署北分署です。2012年7月に地場産材を用いた木造庁舎（車庫部分のみ鉄骨造）が竣工しています。木造部分は延べ面積約590㎡で、外観のみでなく屋内もいかにも木造らしい仕上がりになっています。埼玉県西部の1市4町を管轄している秩父消防本部は、庁舎の木造化を進めていて、この北分署に続いて2013年11月に南分署、2015年2月に西分署も木造で竣工させています。2011年竣工の東分署も木造に見える外観ですが、こちらは鉄骨造とのことです。

皆野町は、秩父市街から荒川を10km程下ったところで、国指定の名勝・天然記念物「長瀬岩畳」の少し上流にあたります。この北分署は、皆野寄居有料道路・秩父やまなみ街道の皆野長瀬IC入口のすぐ近くにありま



ナンバー 119

(写真撮影日：2012.11.9)

<google 地図参照>

<https://www.google.co.jp/maps/@36.0762749,139.1160386,19.31z>

次のところからストリートビューに入ると、東分署(鉄骨造)と南分署(木造)の外観が見られます。

<https://www.google.co.jp/maps/@36.0065872,139.1076862,18.25z>

<https://www.google.co.jp/maps/@35.9571411,139.0299862,18.84z>

新しいものでは、大船渡消防署住田分署（延べ面積約1,030㎡）も木造で2018年3月に竣工。Googleの航空写真は工事中のもので、ストリートビューでもまだ外観は見られませんが、いずれ更新されると思われます。

<https://www.google.co.jp/maps/@39.1433308,141.5730089,15.31z>